

観察者を識別したオナガ

木内 清¹

鳥たちが、観察者を他の人間と識別し、特異な反応の仕方をしているのではないかと思わせるような話をよく聞く。筆者は、オナガ (*Cyanopica ciana*) が、日ごろ巣の観察をしていた者を他と識別して威嚇するのを観察したので報告する。

1974年6月、長野県北佐久郡御代田町立小沼小学校の校内において、野鳥クラブのK君とN君は、中庭の隅のイチイの木に営巣したオナガの巣を朝夕覗いて、繁殖の進行状況を調べていた。

その巣が育雛初期の時、11時頃、2人を含めて10人ほどの児童が写生のために中庭に出ていた。それぞれが写生の場所を捜して歩き回っている間、オナガは時々頭上を飛んで警戒していたが、K君とN君の2人が巣から25mほど離れたヒノキの根本に座ったのをみつけると、そのヒノキの枝につがいで止まってギャーギャーとモッピングを始めた。更に、2人の頭上をかすめるように威嚇のフライトも行なった。

15分ほどそんな行動を繰り返していたが、2人が動かないとみると、次に、ヒノキの枯枝を折り取って木の下で2人めがけて落とす来た。その枝は、中間で二股に分かれた、長さ20cmほどのものだった。その時点で2人はたまたまその場を離れたので、オナガの威嚇は成功したわけである。

その間、中庭には2人以外にも何人かの児童が散開して座っており、2人よりも巣に近い所にいた者もあったにもかかわらず、オナガは他の子に目もくれず、もっぱら2人を威嚇の目標にしていた。年齢も服装も似通った何人かの中から、明らかに観察者を識別していたわけである。

〒384-02 長野県佐久市伴野1769-1

Azure-winged Magpies distinguish intruding observers from others

Kiyoshi Kiuchi

On June 1974, I observed a pair of Azure-winged Magpies (*Cyanopica cyana*) attacking two boys who sometimes looked into the nest. Although there were many boys in the garden, the pair distinguished those two boys from others.

They dipped down over the heads of the selected two boys, and threw twigs down at them.

1. 1769-1 Tomono, Saku-shi, Nagano 384-02

1988年10月5日受理